

定例公安委員会の開催状況について

令和8年2月12日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 特殊詐欺等の被害状況と被害防止対策について

特殊詐欺等の被害状況と被害防止対策について報告があった。

委員から、国内での特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害は、憂慮すべき状況が続いている。そうした中、本県では、県警察が取り組む各種施策が効果を発揮している状況がみられ、評価したい旨の発言があった。

委員から、特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害抑止対策は、目下、警察最大の課題となっており、県警察は、本部長が正に先頭に立って、地域社会と連携した施策に取り組み、着実に効果を生み始めている旨の発言があったほか、被害防止の気運を一層高めるため、引き続き地域社会と連携した取組に努めていただきたい旨の発言があった。

委員から、インターネットを利用して様々なサービスを享受できる現代社会では、その便利さを悪用した犯罪が次々と生まれているため、他機関・団体等と連携し、インターネット利用者のリテラシー向上に資する取組にも注力していただきたい旨の発言があった。

(2) 令和7年中における運転免許の行政処分状況について

令和7年中における運転免許の行政処分状況について報告があった。

委員から、飲酒運転等の悪質な交通違反者に対しては、引き続き迅速な処分に努め、交通安全を確保していただきたい旨の発言があった。

委員から、飲酒運転をはじめとする悪質な交通違反の取締りを徹底し、交通秩序の維持に努めていただきたい旨の発言があった。

委員から、高齢者の免許更新に関しては、認知症の取扱い等、まだまだ課題も多いので、高齢者講習の趣旨等に照らして、更新時にチェックすべき事項を確実に行ってほしい旨の発言があった。

(3) 令和7年中の小型無人機等飛行禁止法に基づく山形県公安委員会への通報件数及び公安条例申請の受理状況について

令和7年中の小型無人機等飛行禁止法に基づく山形県公安委員会への通報件数及び公安条例申請の受理状況について報告があった。

委員から、法令の目的や重要性について、機会を捉えて県民へ伝え、制度の適正な運用を継続していただきたい旨の発言があったほか、受理担当職員に対する随時的確な指導・教養に努めていただきたい旨の発言があった。

委員から、ドローンをはじめとする小型無人機は、今後も活用の幅が広がり、利用が増えることが予想されるため、引き続き制度の内容やルールへの遵守を広報していただきたい旨の発言があった。

委員から、必要な通知や申請をしないなど、ルールを守らない者に対しては、厳正に対処していただきたい旨の発言があった。

(4) 第51回衆議院議員総選挙における警護実施結果について

第51回衆議院議員総選挙における警護実施結果について報告があった。

各委員から、選挙期間中は、連日の警護実施となったが、来県した要人全員が事故等なく、無事に離県できた。警護に当たった職員に敬意を表したい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

- 運転免許行政処分審査
警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞の結果について説明を受け、決定した。
- 犯罪被害者給付金の裁定について
警察本部から、犯罪被害者給付金の裁定について説明を受け、決定した。
- 山形県公安委員会における情報セキュリティに関する規程の制定について
警察本部から、山形県公安委員会における情報セキュリティに関する規程の制定について説明を受け、決定した。
- 人事案件について
警察本部から、人事案件について報告があった。
- クマ駆除等を補完する態勢整備について
警察本部から、クマ駆除等を補完する態勢整備について報告があった。
- 令和7年度山形県留置施設視察委員会の活動について
警察本部から、令和7年度山形県留置施設視察委員会の活動について報告があった。
- 警察本部長による業績報告要領について
警察本部から、警察本部長による業績報告要領について説明があった。